evol

電動アシスト自転車

取扱説明書

品名 evol-D700　　型番 EAD700

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

・取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
・ご使用前に「安全上のご注意」（3 ～ 10 ページ）を必ずお読みください。
・保証書のお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめの上、取扱説明書と共に大切に保管してください。
・お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの説明書を必ずお読み頂き、正しい乗り方をご指導ください。

★お願い★

・この自転車は、サイクリング等の日常生活用として設計されています。
　新聞配達等、業務用にご使用しないでください。
・安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
・万が一の事故に備えて、対人、対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
・必ず、盗難防止のため、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。
・交通安全のルールを守って安全に走行してください。

もくじ

01 ------- もくじ
02 ------- 電動アシストについて
03 ------- 安全上のご注意
03 ------- 自転車共通取扱い説明書
03 ------- 警告表示について
04 - 06 ------- 警告事項
07 - 08 ------- 注意事項
09 ------- 注意事項 (充電器)
10 ------- 注意事項 (バッテリー)
11 ------- 自転車各部署の名称及び付属品
12 ------- 乗る前の注意
12 - 13 ------- 乗る前の点検
14 ------- 正しい使用条件
14 - 15 ------- サドルの調整
15 ------- ハンドルの高さ調整
16 ------- タイヤの取扱い
17 - 18 ------- デュアルコントロールレバーご使用方法
19 - 20 ------- クイックレリーズハブの使い方
21 - 22 ------- 充電のしかた
23 ------- バッテリー残量表示について
24 ------- コントロールディスプレイの名称
24 - 32 ------- 操作方法
33 ------- リチウムイオン電池のリサイクルについて
33 - 34 ------- バッテリーについて
35 ------- 特徴
36 ------- 注油について
37 ------- 悪質運転行為について
38 - 40 ------- 交通ルールを守りましょう
40 ------- 主な道路標識と意味
41 ------- 点検チェックリスト
42 ------- 防犯登録についいて
43 - 44 ------- メモ
45 ------- 自転車安全利用五則を守りましょう。
46 ------- 品質保証規定

電動アシスト自転車について

本製品は、特別に設計された電動駆動ユニットを装備し、走行時に電動駆動動力が踏力を助けてくれる電動アシスト自転車です。一般の自転車と同じように扱える構造になっておりますが、電動アシスト自転車の使用方法を使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

・電動駆動力により楽に走行できます。

上り坂や荷物を積んだ時など、電動駆動力の力で楽に走行できます。
踏力や積載荷物の重量、道路状況などにより、楽になる度合は個人差があります。
時速 0 ㎞ ～ 10 ㎞までは踏力 1 に対して最大 2 の力で踏力補助をする事ができ、
10 ㎞を超えると徐々に踏力補助力を弱めていき、時速 24 ㎞になると補助力が 0 になります。

・バッテリーが切れた場合でも、通常の自転車として走行可能です。

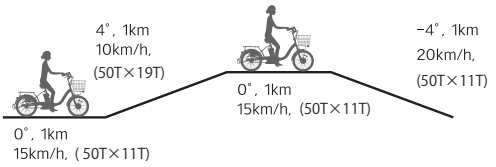
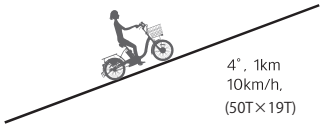
お出かけ先でバッテリーが切れてしまったような場合でも、通常の自転車として同じ様に走行する事が可能です。

・運転免許証は不要です。

本電動アシスト自転車は運転免許証なしで乗る事ができます。

※盗難防止のためワイヤー錠などで施錠することをお勧めします。

仕様	寸法	自転車の長さ	1710 mm	原動機	駆動方式	チェーン式
		自転車の幅	460 mm		種別	クランク軸上合力発生型
		ホイールベース	1009 mm		最高出力	200 w
		サドル地上高	800 mm ～ 950 mm	電池	種別 / 容量	Li-ion バッテリー / 43 V 3.8 Ah
		タイヤの呼び	700 × 28C		バッテリー寿命	充電回数 約 700 回
		車両重量	約 17.5kg	充電器	充電時間	約 3.5 時間
					電源	AC100 V - 240 V (50 Hz ～ 60 Hz)

		モード	走行距離	走行パターン
性能	一充電当たりの走行距離	1	約 37 km	標準パターン 
		3	約 29 km	
		5	約 28 km	
		1	約 14 km	4°登坂連続パターン 
		3	約 11 km	
		5	約 10 km	

※1　JIS D 9115:2018 による測定（ 測定条件　質量 :65kg、気温 :20℃±5℃、バッテリー : 新品充電 ）
※2　走行距離は積載物の重量（ 乗員含む ）、路面状況、気温、バッテリーの劣化状況などの条件の変化により大きく差が出ます。
※3　バッテリーは消耗品です。バッテリーの寿命は※1 の走行状況を元に計算されています。初回充電からバッテリーの劣化は始まります。約 700 回の充放電では容量が半分以下になり、走行距離が著しく短くなる場合があります。

安全上のご注意

自転車共通取扱い説明書

これより先の頁は全車種共通取扱い説明書となっておりますのでお買い上げの自転車には当てはまらない説明内容も含まれております。

・間違った取扱いや調整は事故につながる恐れがありますので、
　警告・禁止・注意・強制事項を必ず守ってください。
・乗車前の「日常点検」と「２か月以内・１年ごとの定期点検」を
　必ず実行してください。
・取扱いがわからない時は販売店にご相談ください。

警告表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守り頂く内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような表示は、必ず実行して頂く「指示」内容です。

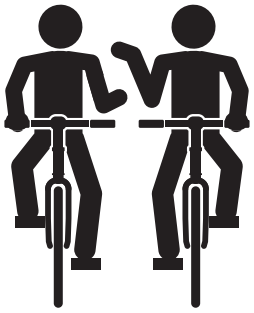
※図面、及び内容はイメージですので実際の商品とは異なる場合があります。

⚠ 警告事項

並走の禁止

２台以上で走行する時は、横に並走して走らないでください。

※ただし、並列可の標識のある所は除く



リフレクターは汚れていたり破損したまま乗らない。また、取外して乗らない

テールランプ及びリフレクターは後方の車両からの確認をする上で大変重要です。汚れや損傷のない状態でご使用ください。

破損した場合は、すぐに交換してください。交換する際は、橙色又は、赤色のものを使用し、反射面の傾きは進行方向垂直に対して上下左右５度未満になるようにしっかり固定してください。

ハンドルの形を変えない

ハンドルを上向きや横向きにして乗ると乗車姿勢が不自然なため走行が不安定となり、転倒し怪我をする恐れがあります。

シートポスト及びハンドルポストの限界標識をこえての乗車をしない

シートポスト及び、ハンドルポストの限界標識がフレームの中に隠れる状態でお乗りください。サドルやハンドル折れや抜けにより転倒し、怪我をする恐れがあります。

車輪の脱着やサドル・ハンドルの調整後、締め付けを確認せずに乗らない

車輪やサドル・ハンドルが外れて転倒による怪我の恐れがあります。

異常がある時は乗らない

点検せず異常のあるまま走行すると事故や転倒による怪我の恐れがあります。

異常を発見したら販売店にご相談ください。変形、ひび割れ等、異常のある部品は必ず交換してください。曲がりを直しての再使用は破損の原因になりますので、絶対にしないでください。

※衝突したとき前ホークが曲がる事によりショックを吸収し、乗員の怪我を防止する役目をもっています。

視界が悪いときは乗らない

見通しが悪いと、衝突や転倒の恐れがあります。
（このような場合は押して歩いてください。）

凸凹の激しい所を走らない

ハンドルがとられたりふらついたりする上、タイヤやリムを破損します。自転車を降りて、押して歩くようにしてください。

⚠ 警告事項

手やハンドルに荷物を引っかけたりペットをつながない

荷物やヒモが車輪に巻き込まれたり、バランスを崩して転倒し、怪我の恐れがあります。

荷物はキャリア（荷台）やバスケットに積んでください。

スポークの間に固形物（ボール等）を入れて走らない

ボールが移動し、ブレーキやダイナモに接触し、転倒したりする恐れがあります。

バスケットに直接ペットを乗せない

ペットが急に飛び出し大変危険です。

走りながら足で発電ランプの操作をしない

ダイナモの手元起動装置のない自転車のダイナモ及びバッテリーランプの転倒は必ず停止し、手で操作してください。足での操作は足や靴が車輪に巻き込み転倒する恐れがあり危険です。

走行以外のことに使用しない

自転車を走行以外の事（踏み台替わり等）に使用しないでください。転倒による怪我の恐れがあります。

幼児をチャイルドシート（幼児座席）に乗せたまま放置しない

自転車が倒れ、怪我をする恐れがあります。

この車両は設計上、チャイルドシートを使用できません。

ニギリのゆるんでいるものには乗らない

ニギリの弾力性が低下し回る物はハンドルから抜ける恐れがあり大変危険です。自転車販売店ですぐに取り替えてください。

ブレーキの制動面に注油しない

ブレーキに関係する箇所のうち、リム・ブレーキ・ゴム・バンドブレーキのドラム内等には**【絶対に注油したり油布で拭いたりしないでください。】**ブレーキが効かなくなり大変危険です。

⚠ 警告事項

禁止

傘やステッキ、釣ざお等を車体に差し込んだり、吊下げたりしない

車輪をロック (固定) させたり、歩行者に怪我をさせる恐れがあります。

禁止

自転車の改造をしない

修理や分解、部品の組み付けは、販売店にご相談ください。ハブステップの装着は危険な改造です。取扱説明書に記載されている調整箇所以外の箇所を調整することはやめてください。万一、不当な改造が起因される故障は補償の対象外となります。

禁止

ぬれた道や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため思わぬ事故や転倒による怪我の恐れがあります。
特に急な上り、下り道は自転車を降りて押してください。

禁止

回転部には触れない

回転部 (前・後輪、ギヤクランク、チェーン部) が動いているときは、手・足で触れないでください。
特に掃除やお子様が遊んでいる時等に回転部に手や足を突っ込まないように注意してください。

禁止

スピードを出しすぎない

スピードを出し過ぎると、ハンドル操作が難しく、ブレーキも効かなくなり、事故を招く恐れがあります。

禁止

合図をする時以外ハンドルから手を離さない

危険回避などの急な操作ができずに衝突や転倒の恐れがあります。雨の時に傘をさして片手運転等はしないでください。

禁止

各部ベアリングを使用している箇所にグリス以外のものを塗らない

ベアリング使用箇所にスプレー式の潤滑油を吹付けると、中のグリスが溶け出てベアリングのガタつきや破損が生じますので、絶対にしないでください。

禁止

ケンケン乗りはしない

片方の足をペダルに掛け、反対側の足で地面を蹴り勢いを付けてからの乗車方法は、急発進したりバランスを崩しやすく、転倒し怪我をする恐れがあります。

⚠ 注意事項

禁止

■ カーブではスピードを出さない

曲がりきれずに思わぬ事故を招く恐れがあります。

禁止

■ カーブではブレーキをかけない

横すべりをおこし転倒する危険があります。
スピードを落として走りましょう。

禁止

■ カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面に接触し、転倒する恐れがあります。

禁止

■ 滑りやすいところでは乗らない

積雪や、凍結した道、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷きなどでの運転はスリップ等をして大変危険です。自転車を降りて押して歩いてください。

禁止

■ スタンドを完全にはね上げていない状態で乗らない

カーブの時スタンドが地面と接触し、転倒による怪我の恐れがあります。

禁止

■ ギアチェンジ (シフト操作) は一度に二段以上しない

一気にギアチェンジするとチェーンが外れる事があり大変危険です。一段ずつチェンジしましょう。

禁止

■ 乗るときは安全な服装で

マフラーや裾の長いスカート等の運転しにくい服装はやめてください。長いボトムを履いて乗車する場合は車輪やギヤにからまる事があり危険です。

禁止

■ 走行中ブレーキワイヤーを引張ったり、曲げたりしない

禁止

■ 滑りやすい靴やかかとの高い靴などを履いて乗らない、また裸足でのらない

足がペダルから外れ、転倒による怪我の恐れがあります。
また、裸足で乗ると足を怪我する恐れがあります。

禁止

■ 片側ブレーキはかけない

片側だけ (特に前ブレーキ) のブレーキをかけると車輪がロックし、自転車が前方に転倒して怪我をする恐れがあります。
走行中は、常にブレーキレバーを握れるようにしてブレーキは前後ともかけてください。

禁止

■ 急ブレーキをかけない

急ブレーキをかけるとスリップして転倒する危険があります。前方に注意して安全走行してください。

■ お子様が乗られる場合は

ブレーキレバーに指がとどいているかどうか確認してください。また、正しいブレーキのかけ方ができるまでくり返し教えてください。

■ 雨、強風、雪のとき

● 雨のとき

服装 (雨具) をととのえる。傘を持っての片手運転は絶対にやめてください。雨合羽やレインコートを着る際には、裾が引っかかったりしないように裾は必セーフティーバンド・輪ゴム・クリップなどで必ずまとめてください。また、雨の日はブレーキも効きにくくスリップしやすいので、ゆっくり走りましょう。

● 強風のとき

ハンドルがふらつきやすく安全に運転出来ません。
無理に乗らずに自転車から降り、押して歩きましょう。

● 雪のとき

雪の日には乗らないのが一番です。自転車から降り、押して歩くように心掛けましょう。また、冬の晴れた日でも日陰の路面が凍っていたり、雪が残っていたりしますので、滑って転倒する恐れがあるため、注意が必要です。

禁止

■ 飲酒後には絶対に乗車しない

衝突や転倒など事故や怪我の恐れがあります。

禁止

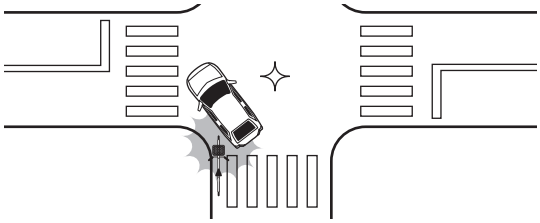
■ 夜間及び暗い所では、無灯火で乗らない

自動車に衝突されたり障害物にぶつかり、事故や怪我をする恐れがあります。

⚠ 注意事項

■ 自動車の左折車に注意

車道の左端を走っている自転車が左折する自動車に巻き込まれる事故がよく起こっています。直進しようとする際には、左折車の動きに十分に注意し、車道の左端を走るようにしましょう。トラックやバスの真後ろはバックミラーには映らず、ドライバーの死角となります。
信号で停止する際などには、自動車の車線には入らないよう注意しましょう。



■ 衝突や転倒した時には

衝突や転倒をした際は、必ず自転車各部を点検してください。異常がある場合は販売店に相談してください。

■ 自動車の横を走り過ぎるときはスピードを出さない

自動車のドアが急に開き衝突の危険性があります。

■ 駐輪時の注意

駅前や商店街など自転車を乗っていった先で自転車を放置しないようにしましょう。駐輪する時は、駐輪場に止めましょう。
平坦な場所に必ずスタンドをロックし施錠しましょう。
自転車使用後は、ブレーキに手を触れないでください。
熱くなっている恐れがあります。

⚠ 注意事項

※前後ロックとは、走行中に前車輪の回転が瞬間的に急停止する事です。衝突と同じくらいの衝撃があり、前のめりに頭から転倒し大事故につながります。前車輪がロックされる原因には以下のような場合が考えられます。

1. ハンドルにぶら下げたバック等が前車輪や、前車輪と車体の間に入ったとき。
2. 前カゴに入れたバンドや細長いヒモ状の物等が前車輪の間に入ったとき。
3. スピードを出していて急ブレーキをかけたとき。
4. 前子供乗せの子供の足が誤って前車輪の間に入ったとき。
5. ダイナモランプを足先で蹴って倒す時に誤って足を前車輪の間に突っ込んだとき。
6. スポーク切れやその他の原因で、リムが横揺れしタイヤが車体に接触したとき。
7. ブレーキのゴムのネジが緩んでいてゴムがタイヤにあたったとき。
8. 外部からの異物が車輪の間に入り込んだとき。
9. 前車輪のネジが緩んでいて車輪が傾いてタイヤに接触したとき。

⚠ 注意事項

■ この車両は設計上、幼児座席を取付けすることが出来ませんのでご注意ください。

⚠ 警告事項

■ 歩行者等に危害を及ぼす恐れがある突起物の装着を禁止します。

傘やステッキ、釣ざお、バット、たたき棒などの積載はやめてください。
また、ハブステップの装着も禁止です。
車輪をロック（固定）させたり、歩行者に怪我をさせる恐れがあります。

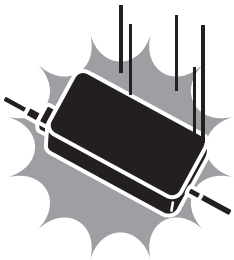
⚠ 注意事項 (充電器)

⚠ 危険

禁止

衝撃を与えたり、落下させない

・液漏れや故障の原因となります。



禁止

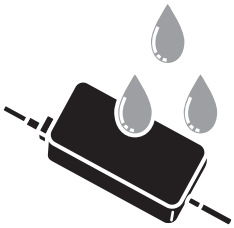
絶対に分解したり修理・改造などはしない

・発火したり異常動作して怪我をすることがあります。
・修理はお客様問い合わせセンターへご相談ください。

禁止

水に濡らさない

・ショートや感電の原因となります。



禁止

専用バッテリー以外には使用しない

⚠ 警告

禁止

幼児など取扱に不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所では使用しないでください。

感電・怪我をする恐れがあります。

禁止

電源コードを傷つけないでください。

痛んだまま使用すると、感電・発火・ショートする恐れがあります。

禁止

濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。

感電・怪我をする恐れがあります。

禁止

本製品は日本国内専用です。

交流 100V でご使用ください。
海外など異なる電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示

電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。

火災の原因となります。

指示

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

差込が不十分ですと感電や発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止

充電器を不安定な場所に放置しないでください。

禁止

充電中は熱くなりますので充電器にカバーをかぶせたり、上に物を置かないでください。

火災の原因となります。

禁止

充電中は長時間、素肌で同じ場所を触れないようにしてください。

低温火傷の恐れがあります。

⚠ 注意事項 (バッテリー)

⚠ 危険

禁止

⊕と⊖を金属などで接触させない

・発熱・発火・感電する恐れがあります。

禁止

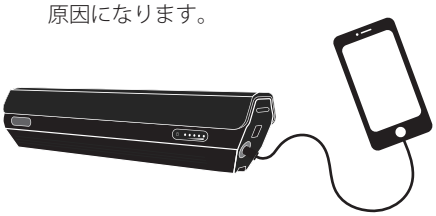
絶対に分解したり修理・改造などはしない

・発火したり異常動作して怪我をすることがあります。
・修理はお客様問い合わせセンターへご相談ください。

禁止

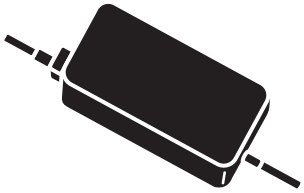
ほかの機器に使用しない

・電池の液漏れ・発熱・破裂の原因になります。



禁止

充電には専用充電器をご使用ください



禁止

熱したり火の中に投げ入れたりしない

・電池の液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

禁止

お手入れする時などは、本体に直接水をかけない

・ショート・感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

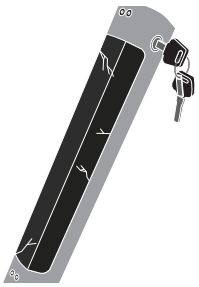
水を入れたり、水中に投下しない

・感電・故障の原因となります。

禁止

破損したままで使用しない

・液漏れや発熱の原因となります。



※保存

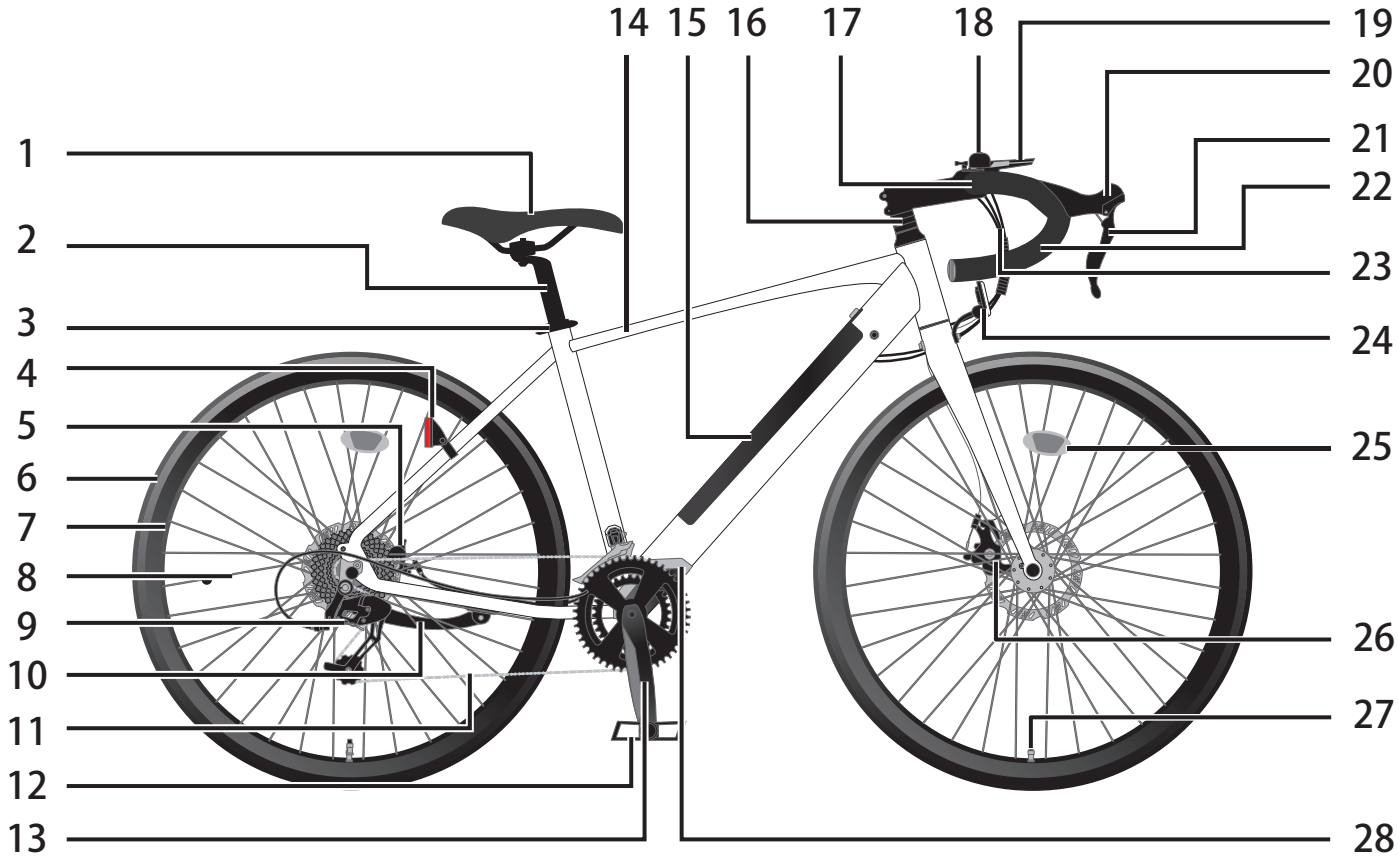
電池を長期使用しない場合は、自転車からはずして湿気の少ない場所に保管してください。
長期間保存後は、充電してからお使いください。長期間使用しない場合でも 60 日に 1 度は充電してください。
保存環境は温度：18 ～ 28℃、湿度：45 ～ 85%の範囲で保存してください。

自転車各部署の名称及び付属品

車体

【付属品】専用充電器

付属のバッテリー以外は使用しないでください。



番号	各部名称	番号	各部名称	番号	各部名称	番号	各部名称
1	サドル	8	スポーク	15	バッテリー	22	グリップ（バーテープ）
2	シートポスト	9	リヤディレーラ	16	ヘッドパーツ	23	ブレーキワイヤー
3	シートバンド	10	スタンド	17	ハンドルバー	24	フロントリフレクター
4	リヤリフレクター	11	チェーン	18	ベル	25	サイドリフレクター
5	後ブレーキ	12	ペダル	19	コントロールディスプレイ	26	前ブレーキ
6	タイヤ	13	クランク	20	シフトレバー	27	タイヤバルブ
7	リム	14	フレーム	21	ブレーキレバー	28	ドライブユニット

⚠ 警告 乗る前の注意

■ 正しい乗車姿勢がとれますか

サドルとハンドルの高さを調整してください。
（実際に乗って確認してください。）

・円滑なペダリングができるか
・ベル、ブレーキ及びギヤチェンジが確実に操作できるか
・ハンドル操作が容易にできるか

■ 必ず点検をしてください

乗る前には必ず点検してください。
点検については本書をよく読んで点検してください。分からない点は、販売店に相談してください。

■ 安全な服装で

車輪に巻き込まれやすい服装はしない。

・ズボンのすそ汚れやチェーンへの巻込みを防止するためにズボンはズボンバンドで止めてください。
・靴はかかとの低い滑らかなものをはいてください。
・もしもの転倒時に備えヘルメットを着用してください。

■ 乗る練習は

電動アシスト自転車に馴れるまでは、空き地や公園などの安全な場所で練習しましょう。
（よく練習してから一般道路でお乗りください。）

■ 初期点検及び定期点検は

購入後二ヶ月以内は、ネジのなじみなどの影響でゆるみが生じやすいので二カ月以内に初期点検を受けてください。また、その後一年ごと及び異常を感じた場合には、点検を受けてください。（有料）

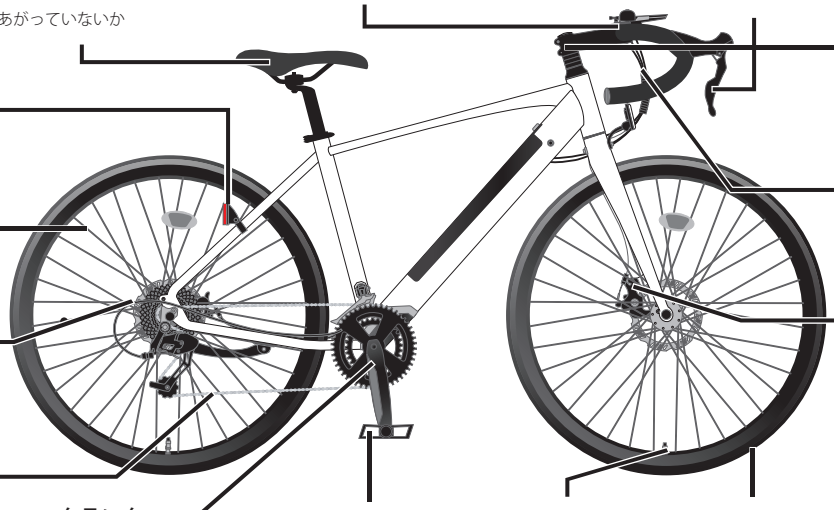
定期点検、整備を受けていないと保証の対象外となることがあります。

⚠ 警告 乗る前の点検

※点検ができないお子様のために必ず保護者の方が行ってください。

■ 日常点検と調整のポイント

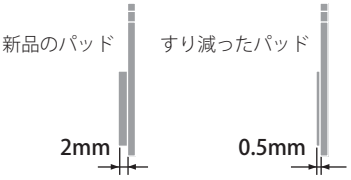
- 安全に乗っていただくために、乗車前に次の点検を実施してください。
- 点検、調整後は、試乗を行ってください。
- 異常があった時や不明な点がある時は、乗車せず販売店にご相談ください。



- **サドル**
  しっかり固定されているか
  シートポストは限界線以上あがっていないか
- **ハンドル**
  しっかり固定されているか
- **ブレーキレバー**
  しっかり固定されているか
  ブレーキが効くか
- **ヘッド**
  よく回るか
  ゆるみやガタはないか
- **ブレーキワイヤー**
  ほつれや錆がないか
- **ブレーキ**
  しっかり固定されているか
  パッドとローターが当たっていないか
  パッドの残りは十分か
- **リフレクター**
  汚れや損傷はないか
  取付け角度は適正か
  （反射面の傾きは進行方向垂直に対し上下 5°未満）
- **スポーク**
  折れているものはないか
  曲がっているものはないか
- **車輪 (前後)**
  ゆがんで回転していないか
  ゆるんでガタついていないか
- **チェーン**
  滑らかに動くか
  錆びていないか
- **クランク**
  ガタはないか
  よく回るか
  曲がりやひび割れはないか
- **ペダル**
  ガタはないか
  よく回るか
  曲がりはないか
- **タイヤバルブ**
  ゆるみはないか
- **タイヤ**
  空気圧は大丈夫か
  パンクはしていないか

- **ブレーキワイヤーは異常がなくても一年に一回は交換してください。**
- **タイヤは接地面のトレッド溝が一部でもなくなる前に交換してください。**
- **ブレーキパッドの厚みが 0.5 ㎜になりましたら交換してください。（図 1 参照）**

【図 1】



※イラスト等はイメージですので実際の商品とは異なる場合があります。

⚠ 警告 乗る前の点検

※点検ができないお子様のために必ず保護者の方が行ってください。

■ 正しい乗車姿勢がとれますか？

サドルに座った時に、サドル、ブレーキレバーの位置は適正ですか？

■ ブレーキはよく効きますか？

・左右のブレーキレバーを握って自転車を押し進めた時、ブレーキが効くか
・ブレーキレバーの取付け台のゆるみやガタが無いか
・ブレーキレバーの作動には特に注意し、ワイヤーの錆、折れ曲がりがないか（※錆や折れ曲がりがあると、ブレーキレバーの作動が重かったり、ブレーキが効かない事があります。またブレーキの効きにも注意してください。）

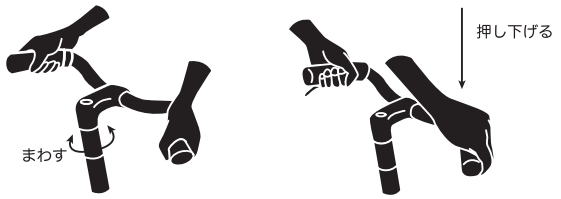
■ ブレーキレバーの握り代が大きい場合

ブレーキレバーの握り代が大きく感じる場合は、パッドクリアランスを小さく調整することで適切な握り代に設定する事ができます。

指示
● お子様が乗られる場合は
ブレーキレバーに指がとどいているかどうか確認してください。
また、ブレーキのかけ方をくり返し教えてください。

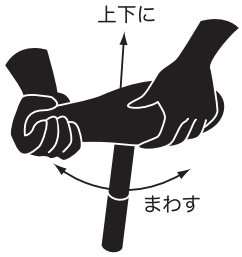
■ ハンドルはしっかり固定されていますか？

・ゆるみやガタが無いか
・前輪に対して直角に取り付いているか（※固定の確認は、大人の人が左右のハンドルにぎり部を持って前輪を両足ではさみ、上下左右に回そうとしても動かないこと。）
・にぎりがゆるんでいないか。また、図のように両手で押し下げても動かないこと。



■ サドルはしっかり固定されていますか？

・上下・左右・前後にゆるみやガタが無いか
・フレームとまっすぐに取りついているか。
（※固定の確認は、大人の人がサドルの前後を持って上下左右に力を加えても動かないこと。）

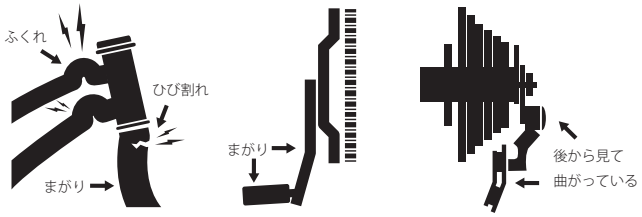


■ フレームや前ホークの変形やひび割れ等はないか

■ ペダル軸やギヤクランクに曲がりやひび割れ等はないか

■ ディレーラ (変速機) に変形はないか

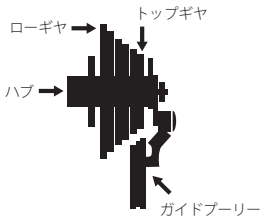
指示
変形やひび割れがある場合は直ちに使用を中止し、
自転車専門店で必ず交換、修理をするようにしてください。



禁止
曲がりを直しての再使用は絶対にしないでください。
破損によるケガの恐れがあります。

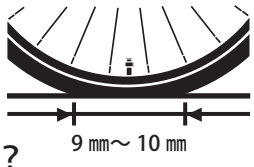
■ ディレーラ (変速機) は正常に作動しますか？

・クランクを回転させながら変速レバーを操作した時、ギヤチェンジ (変速) はスムーズか
・チェーンがロー側及びトップ側に外れないか



■ タイヤの空気圧は十分ですか？

自転車に乗った時、地面との接地面の長さが 9 ～ 10 ㎝くらいになるのが標準です。空気圧が低すぎるとタイヤの損傷が早く、パンクの原因となり、また車輪の回転が重くなります。



■ パンクはしていませんか？

乗車になる時はパンクの確認をしてください。タイヤを押さえてへこむようではパンクしている可能性があります。

■ 各部のネジはゆるんでいませんか？

自転車の前車輪と後車輪を別々に持ち上げて (10 ～ 20 ㎝) 軽く落として異音や取り付けのズレはないか、異音がある場合は、ネジやナットがゆるんでいます。

■ ライトは点灯しますか？

・夜間の走行する際には、市販の前照灯を別途お買い上げの上装着してください。
・出かける前にはライトが点灯するかどうか確認してください。。

※イラスト等はイメージですので実際の商品とは異なる場合があります。

⚠ 正しい使用条件

■ 荷物の積載について

この自転車にはリヤキャリアを装着していません。荷物の積載は市販のキャリヤ等を使用してください。
また、幼児用座席は装着できません。

■ 標準常用速度及び標準乗員体重

※スピードの出しすぎは危険ですので安全速度を守ってください。

	スポーツ車	シティ車	コンパクト車	実　用　車
常用速度km / h	15 ～ 25	10 ～ 20	10 ～ 15	10 ～ 15
標準乗員体重kg	65	65	65	65

※コンパクト車は呼び (径)20 以下の車輪でコンパクト化を図った自転車です。

■ 標準適応身長

身長にあった自転車の調整は、サドルにまたがり両足先が地面に付くように調整する事が適当です。サドルの高さを調整しても両足先が地面に付かないものや、足の角度が窮屈になるような高さは正しい調整とはいえません。
下の表を参考にサドルの高さの調整目安にしてください。わからない場合は販売店にご相談ください。

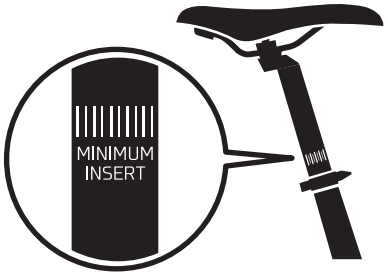
サドル地上高さ (cm)	適正身長 (cm)	サドル地上高さ (cm)	適正身長 (cm)
46	98	74	144
50	105	78	150
54	111	82	157
58	118	86	163
62	124	90	170
66	131	94	176
70	137	98	183

サドルの調整

■ サドルの高さ

サドルに座り、ペダルを一番下にし手足を乗せた時、膝が軽く曲がる程度の高さが適当です。小さい方や初心者の方は、両足つま先が地面に確実に接するくらいの高さに調節してください。(標準適応身長表参照)

⚠ 警告　最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。サドルのシートポストが折損して怪我の恐れがあります。



はめ合わせ限界標識

サドルの調整

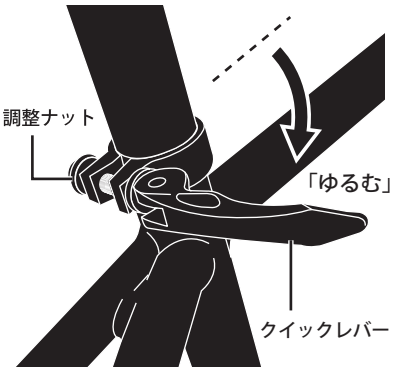
■ 調整方法

サドルの上げ下げ

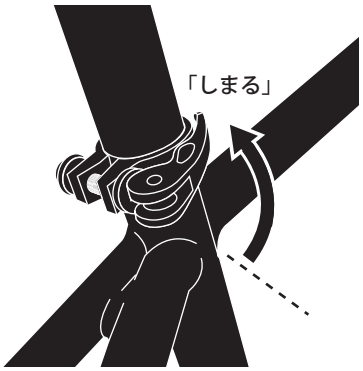
■ クイックレバー式のシートバンドの場合

クイックレバーを図１の「ゆるむ」方向に操作すると、シートバンドがゆるみます。固定する場合はクイックレバーを図２の「しまる」方向へいっぱいに押し付けます。シートポストが十分固定していなかったり、「しまる」位置まで操作する前に固くなったりする場合はレバーと反対側の調整ナットを回して調整してください。

【図 1】

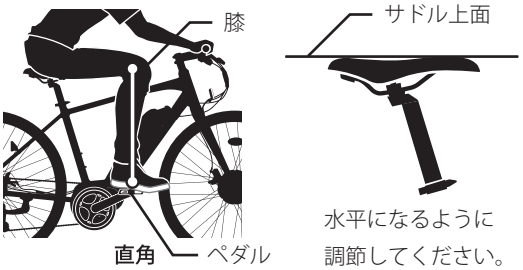


【図 2】



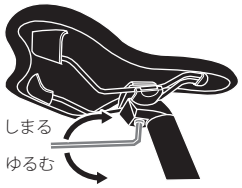
サドルの前後位置

サドルの前後位置は、ペダルの斜め前の一番力のかかる位置にして足を乗せた時、膝の中心からの垂線がペダルの中心を通るようにするのが標準です。また、角度はサドル上面がほぼ水平になるように調整してください。



前後位置の調整

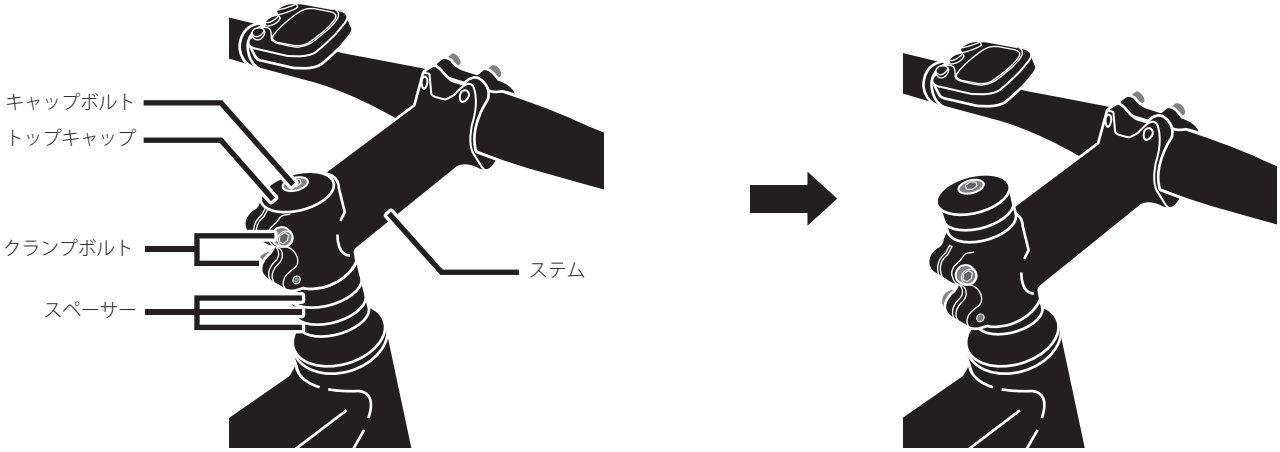
サドルの前後位置は、サドル固定ボルトを緩めて調整します。調整後はサドル取付ボルトをしっかり締め付けてください。（トルク値 : 12 ～ 15 N・m）



■ ハンドルの高さ調整

ご利用の状況や体格に合わせ高さを変更することが出来ます。調整後は固定の確認やワイヤー類の干渉、ハンドル操作に支障が無いか等乗車前に必ず確認ください。調整方法や確認方法が出来ない場合はご購入の販売店や自転車専門店にて調整を依頼してください。

1．４㎜の六角レンチでクランプボルトを２本とも緩めます
2．トップキャップのボルトを５㎜の六角レンチで緩めていきボルトとトップキャップを取り外し、ステムを抜きます。
3．スペーサーの位置を入れ替えて高さを調整してください。
4．調整後、クランプボルトとトップキャップのボルトを仮締めします。
5．トップキャップのボルトを右へ回しながらハンドルの「ガタツキ」を調整します。
6．クランプボルトを締め付けし固定してください。(トルク値：5.0 ～ 6.0 N・m)



タイヤの取扱い

WO タイヤと HE タイヤ

- **WO タイプ**

WO タイヤ / ビードワイヤーがリムの全長より短く、その張力で確認するタイプ。

- **HE タイプ**

HE タイヤ / ビードフックと言う引っかかりでタイヤを固定するタイプ。

タイヤの空気圧について

・タイヤの空気圧が少ないと、接地面積が広くなって抵抗が大きくなるほか、パンクやタイヤ・リムの損傷の原因になります。タイヤに表示している空気圧の範囲内でご使用ください。

表示例・・・【○○○ kPa、 ○○○kgf/cm^2、 ○○PSI】

※ 変換率・・・1kPa = 0.01kgf/cm^2 = 0.145PSI

・仏式バルブ及び米式バルブは、専用のタイヤゲージで空気圧を測定する事が出来ます。販売店にご相談ください。

・タイヤゲージが無い場合は、自転車を乗車した時の接地長で判断してください。

■ タイヤ (チューブ) バルブの形式と空気の入れ方

ご使用自転車のバルブの種類をご確認ください。バルブの形式には「英式」「米式」「仏式」の 3 種類があります。
また、バルブの口金形式はメーカーによって異なりますので、詳しくは販売店にご相談ください。

英式	米式	仏式
ブランジャ		
英式バルブ用ポンプ口金	米式バルブ用ポンプ口金	仏式バルブ用ポンプ口金
・キャップを外し、ブランジャに　ポンプの口金を入れる ・空気圧を確認し、口金を外してキャップを付ける。	・キャップを外し、ボディにポンプの口金をはめて空気を入れる。 ・空気圧を確認し、口金を外してキャップを付ける。	・キャップを外し、コア引上げネジを 2 ～ 3 回転ゆるめて、コア先端を上から押し、空気の抜けを確認する。 ・空気圧を確認し、口金を外してコア引上げネジを回して締めキャップを付ける。

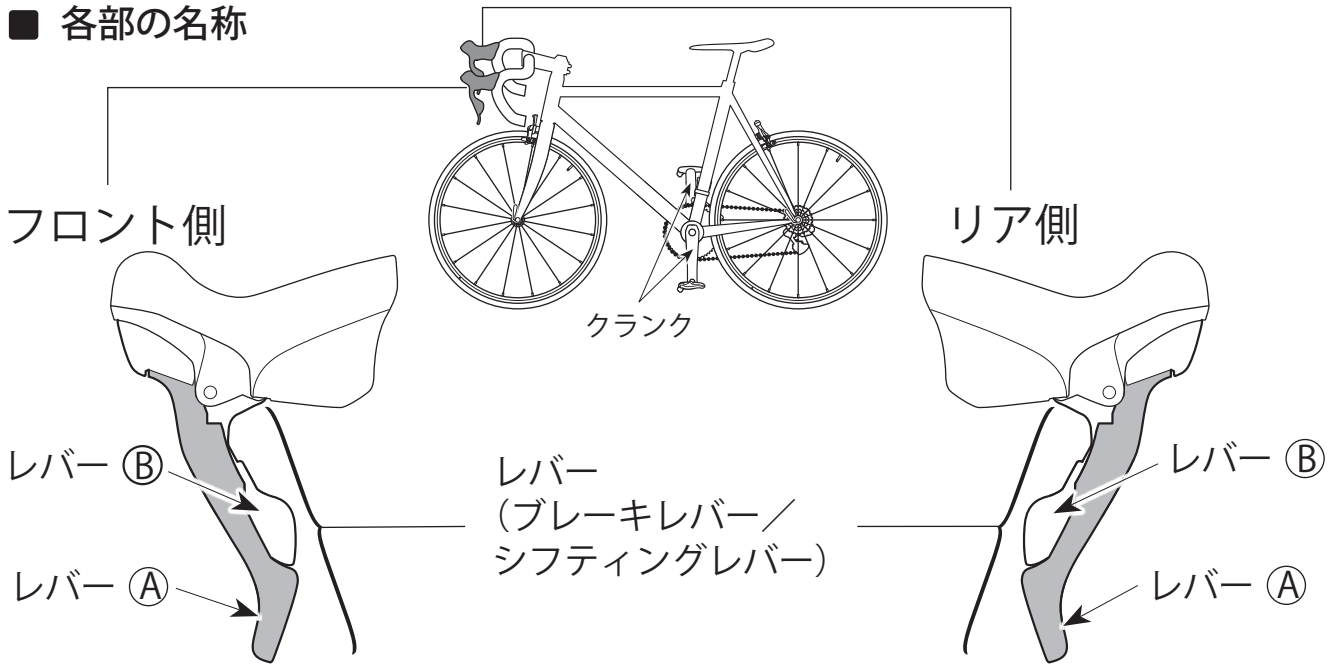
デュアルコントロールレバーご使用方法（ブレーキレバー / 変速レバー）

❗ 安全のために必ずお守り下さい。

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

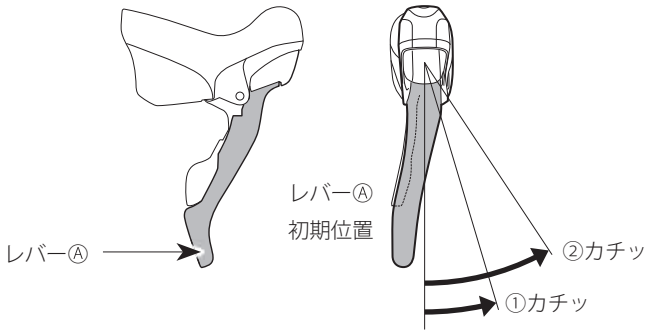
・前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
・乗車前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
・雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
・路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなります。タイヤがスリップすると転倒して危険ですので、スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。

■ 各部の名称



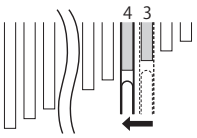
■ リア側レバーの操作

・レバーⒶ: リア小ギヤから大ギヤへの変速レバーⒶには①、②の２カ所にカチッというあたりがあります。



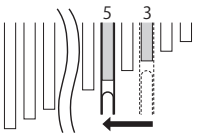
①: 1 段分だけ変速

例：３段目から４段目へ

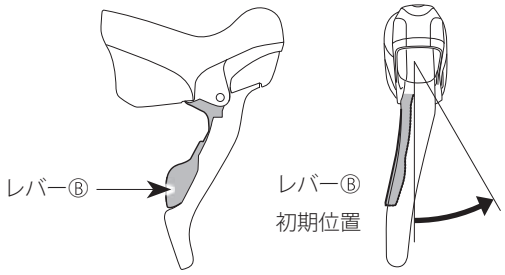


②: 2 段分一気変速

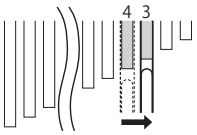
例：３段目から５段目へ



・レバーⒷ: リア大ギヤから小ギヤへの変速レバーⒷを１回押して離すと、大ギヤから小ギヤへ１段変速します。



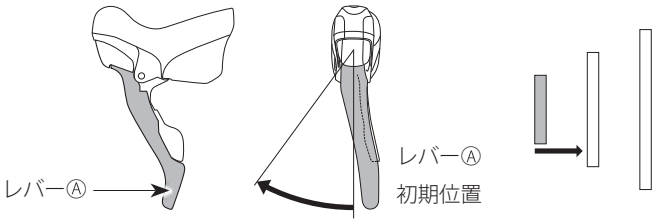
例：４段目から３段目へ



デュアルコントロールレバーご使用方法（ブレーキレバー / 変速レバー）

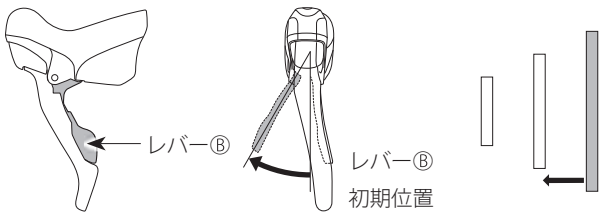
■ フロント側レバーの操作

・レバーⒶ: フロント小ギヤから大ギヤへの変速



レバーの当たりまで押して離してください。変速が完了しなかった場合はもう 1 度レバーの当たりまで押してください。

・レバーⒷ: フロント大ギヤから小ギヤへの変速



レバーの当たりまで押して離してください。

■ トリム操作 (音鳴り防止機構)

フロントディレーラーとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合は下記の操作をすると解消します。
※イラストはトリプル仕様で描いてますが、ダブルの場合も方法は同じです

チェーンの位置	トリム操作 レバー操作	チェーンの位置	トリム操作 レバー操作
大ギア トップ側ギア	レバーⒶ トップ側ギア （あたりがある）	大ギア ロー側ギア	レバーⒷ ロー側ギア （あたりがある）
中間ギア トップ側ギア		中間ギア ロー側ギア	
小ギア トップ側ギア		小ギア ロー側ギア	

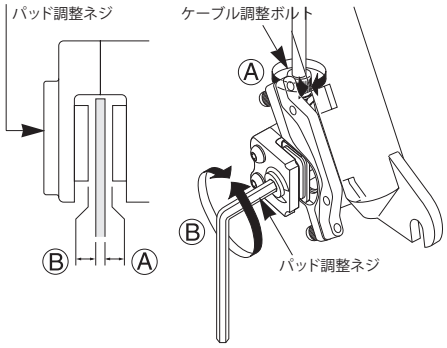
■ パッド摩耗時の調整

キャリパブレーキ本体のケーブル調整ボルトと、パッド調整ネジを使ってパッドの摩耗時のクリアランス調整をしてください。
尚、パッドの使用限界は、パッドランニング材が残り 0.5 ㎜ の厚さになるまでです。

〈B 側〉パッド調整ネジを回して、調節してください。

〈A 側〉キャリパー本体のケーブル調整ボルトを回して調整してください。

・パッド摩耗時の調整は、ケーブル調整ボルトとパッド調整ネジの両方を操作して行ってください。ケーブル調整ボルトだけで行うとパッドを交換目安の 0.5 ㎜ になるまでに使用できなくなります。また、ブレーキ操作時以外でのパッドとローターの干渉の原因にもなります。



■ ブレーキワイヤーの交換

ブレーキワイヤーは、１年ごとに交換してください。但し、サビやほつれの異常を確認した時は速やかに交換してください。

■ 次の場合は販売店に相談してください。

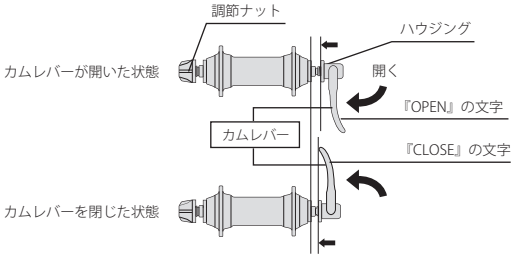
ブレーキ各部は説明書記載以外の調整を自分で行わないで下さい。

1．アジャストボルトで調整しきれない場合
2．ブレーキパッドが摩耗して厚みが 0.5 ㎜になったときは
　ブレーキパッドを交換して下さい。
3．ブレーキの効きが悪くなった場合。

クイックレリーズハブの使い方

■ クイックレリーズの構造

レバーがカム機構となっており、このカムレバーを閉じるとハウジングと調整ナットが内側に動きます。この力によりフレームに車輪を固定しています。

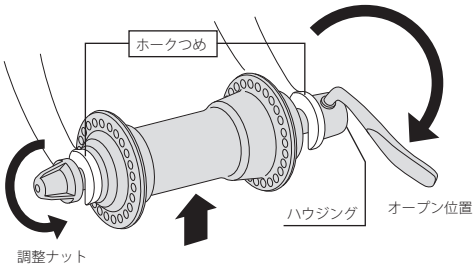


禁止

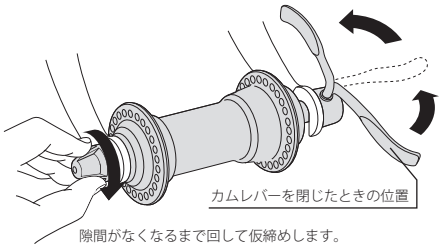
フレームに車輪を固定するとき、カムレバーを回して締め付けないでください。クイックレリーズのカム機構が動かなくなり、車輪の固定が不完全になり非常に危険です。

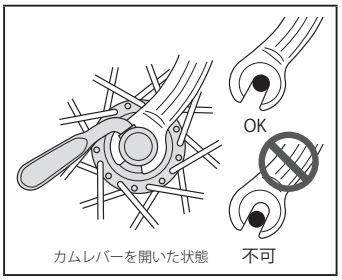
■ クイックレリーズの操作

・ロックナットとクイックレリーズの調整ナット及びハウジングの間に、エンド (ホークつめ) が簡単に入るまで、調整ナットを下図の様にして回して緩めます。



・カムレバーを開いたままにして、エンド (ホークつめ) とクイッ　クレリーズの調整ナットとハウジングの隙間がなくなるまで調整ナットを下記左図のように回して締めます。なお、調整ナットの調整をするときのカムレバーの位置は、カムレバーを閉じたときの位置を想定して、下記右図に示す位置で行うのが理想です。

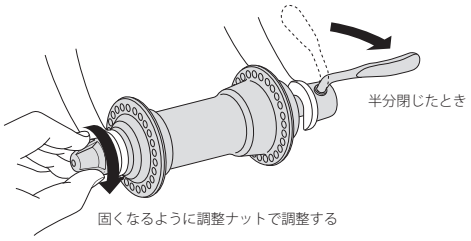


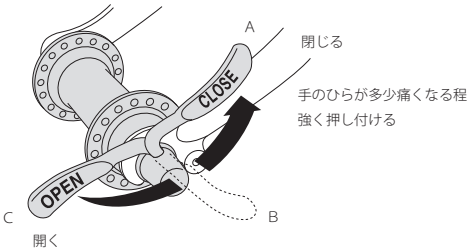


警告

クイックレリーズハブは、車輪の脱着には大変便利に出来ていますが、使用を誤ると非常に危険なものになります。クイックレリーズハブの使用方法をよく理解された上でお取り扱いください。解除している状態では絶対に自転車に乗車しないでください。車輪が外れてしまい危険です。

・カムレバーが半分くらい閉じたときに固くなる様に調節ナットで調整し、完全にカムレバーを閉じてください。カムレバーを閉じるとき、手のひらが多少痛くなる程度の力で絞めてください。（トルク値 : 5.0 ～ 7.5N・m）





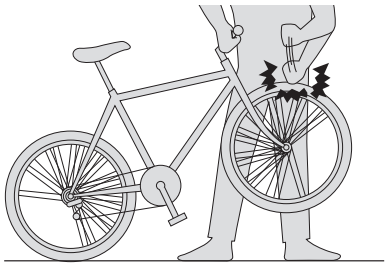
警告

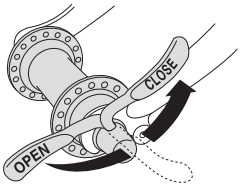
カムレバーをＡの位置まで操作したときに十分固定出来る事が重要です。もし、カムレバーが固すぎたり、緩すぎて固定が十分でないときは、危険ですから調整ナットを回して再調整してください。

クイックレリーズハブの使い方

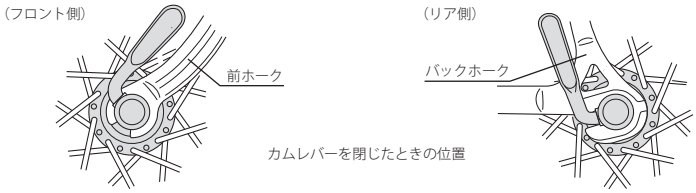
■ 車輪はしっかり固定されていますか？

自転車を持ち上げて、タイヤを上から強く叩いたとき、車輪がしっかり固定されているかどうか。





・クイックレバーが『CLOSE』のマークが見える位置に閉じられていますか？もし、クイックレバーが『OPEN』の位置になっている場合は、車輪が外れる恐れがあり大変危険です。必ず乗車前に点検してください。
・車輪の中心線と前ホーク、フレームの中心線を合わせてください。
・カムレバーは前車輪、後車輪とも乗車して左側になる様にしてください。
・カムレバーを固定するときのカムレバーの位置は前ホークまたは、バックホークに平行に沿わせてください。
・カムレバーの固定の確認



■ ローター対応ハブのクイックレリーズ・レバーの位置

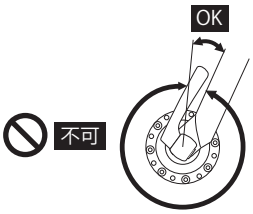
・図 1 の様にクイックレリーズ・レバーをローター側にセットし、クイックレリーズ・レバーをいっぱいに締めてローターと干渉しない事を確認してください。ローターと干渉する場合は、ローターと反対側にセットしてください。

【図 1】

・クイックレリーズ・レバーは図 2 の様にホークを沿わせるか、図 3 の様に進行方向後ろ向きの範囲にセットしてください。走行中にプッシュや岩等にレバーが接触し突然解除され車輪が外れる恐れがあるためです。
・また、フロントホークとクイックレリーズ・レバーの干渉に注意してください。この干渉によって車輪の固定が不十分の場合は、自転車に乗っている間に車輪が自転車から外れ、重症を負うことがあります。

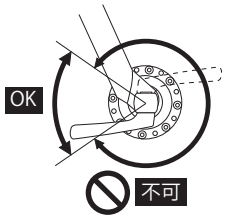
【図 2】

レバー：
自転車を前から見て右側



【図 3】

レバー：
自転車を前から見て左側



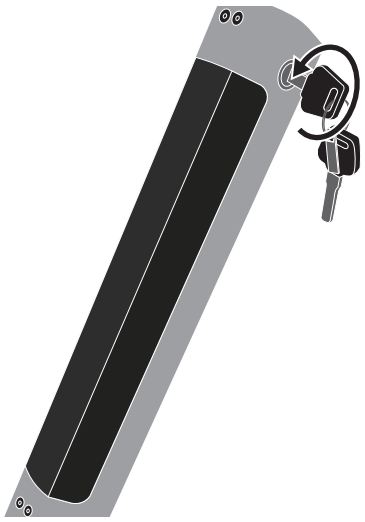
充電のしかた

1

＜充電の手順＞

コントロールディスプレイのON/OFFボタンを押し、電源が切れていることを確認する。
＜全ランプ消灯＞

2

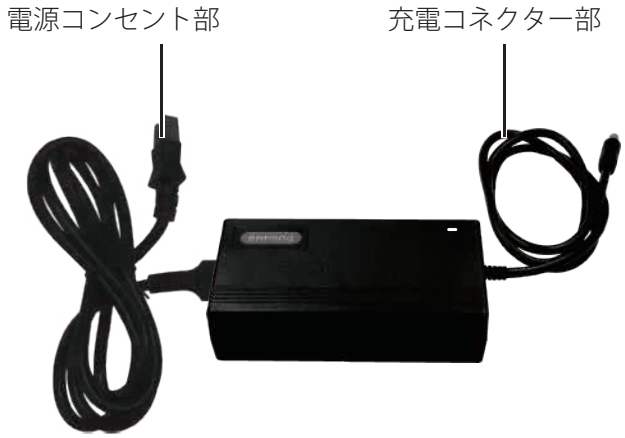


バッテリーの盗難防止用の鍵穴にキーを差し込んでバッテリーキーを左に回し（反時計回り）開錠してください。

3

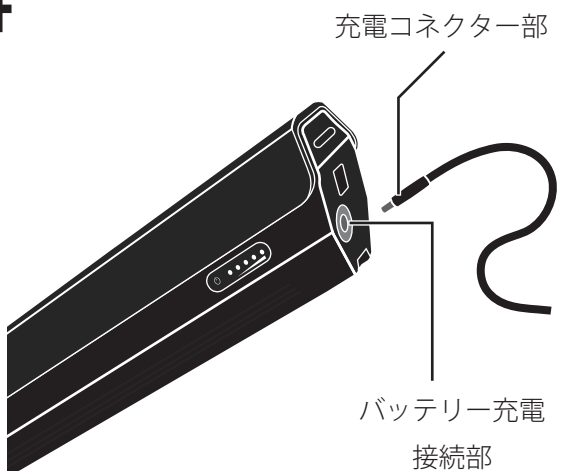
バッテリー本体を車体から取り外してください。

充電のしかた



自転車からバッテリーをはずし、
専用充電器を用意してください。

4



新品の状態はプラグの差し込みが固いので強めに差し込んで下さい。

屋内で充電して下さい。

専用充電器のコネクター部をバッテリー充電接続部にしっかり接続して下さい。

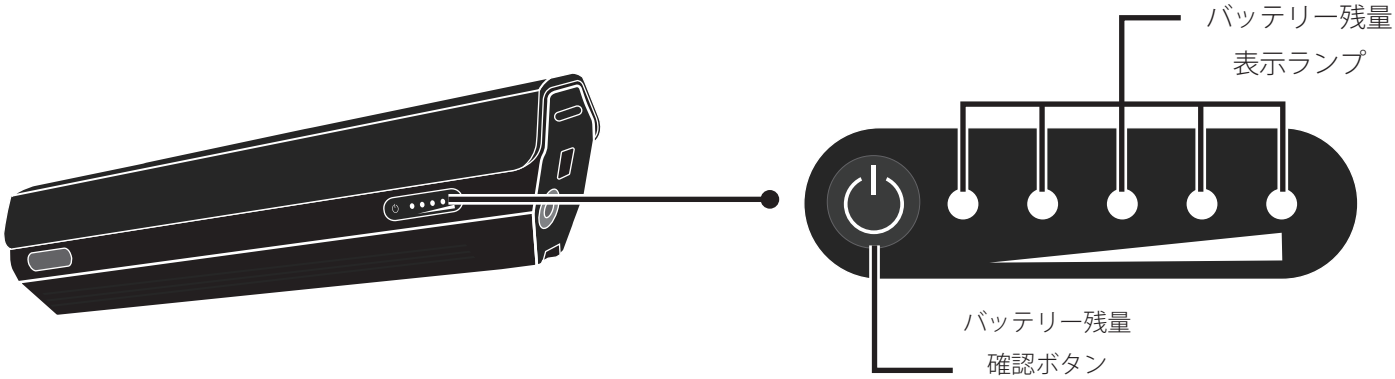
続いて専用充電器の電源コンセント部を家庭用１００ボルトのコンセントに差し込んでください。充電が始まります。

5

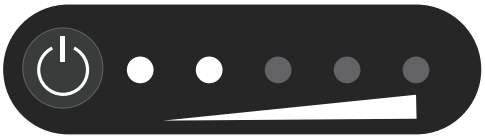
充電を開始すると専用充電器の充電表示ランプが赤く点灯します。充電表示ランプが赤から緑に変われば充電は完了です。

また、※バッテリー残量確認ボタンを押し、バッテリー残量表示ランプが５個すべて点灯していれば充電はほぼ完了です。
（※P23 参照）

バッテリー残量表示について



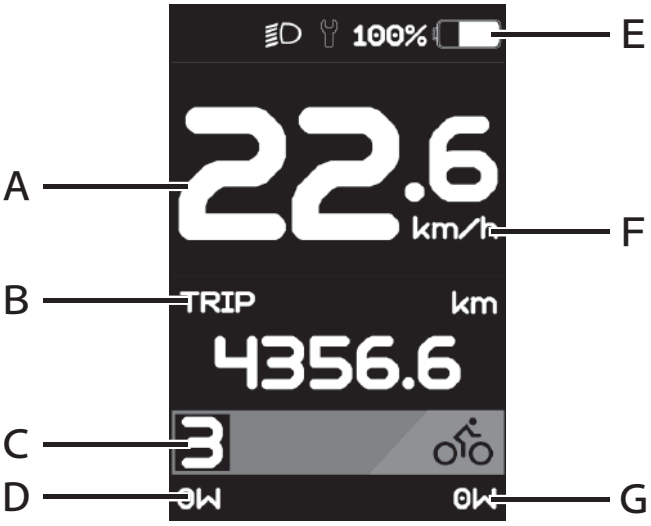
バッテリー本体正面側にバッテリー残量確認ボタンがあります。

表示	電量
青ランプ５つ点灯	約100%～80% **バッテリー残量満タン** 表示ライトは５つすべてが点灯します。
青ランプ４つ点灯	約80%～60%
青ランプ３つ点灯	約60%～40%
青ランプ２つ点灯	 約40%～20%
青ランプ１つ点灯	約20%～以下 **バッテリー残量ゼロ** 表示ライトはつきません。

※ディスプレーの残量表示とバッテリーの残量表示は一致しない場合があります。

コントロールディスプレイの名称

番号	各部名称	番号	各部名称
1	UP	2	DOWN
3	ON/OFF	4	バッテリー残量
5	速度表示	6	多性能表示エリア
7	アシストパワーレベル表示	8	MODE



番号	各部名称	番号	各部名称
A	速度数値表示	B	多性能表示エリア
C	アシストパワーレベル表示	D	モーター出力
E	バッテリー残量	F	速度単位表示
G	入力踏力		

操作方法

1

ON/OFFスイッチを2秒以上長押して
アシストパワーレベル表示ランプが点灯すれば
アシスト走行ができます。

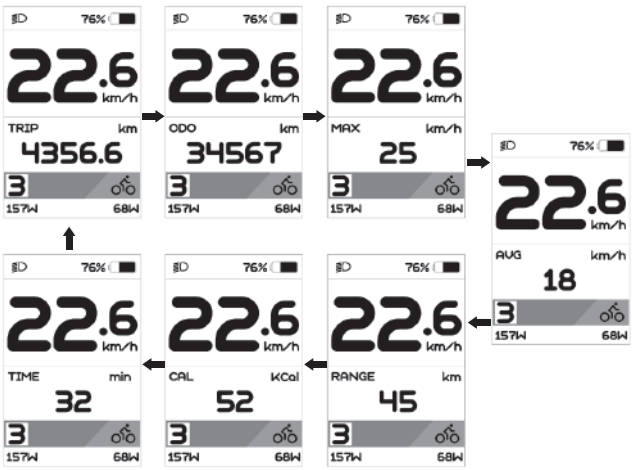
2

ＵＰ/ＤＯＷＮのボタンを押して走行に適したレベルを選び安全に気をつけてアシスト走行をして下さい。１から５になるにつれてアシスト力が強くなります。１の時にＤＯＷＮボタンを押すとアシストオフになりバッテリーの消費を抑えることができます。

3

＜ＯＮ/ＯＦＦ 表示切替ボタン＞

電源 ON の状態で ON/OFF(表示切替ボタン) をすばやく短押ししていくと多機能表示エリアが次のように表示が切り替わります。



ＴＲＩＰ（距離）
↓
ＯＤＯ（累積距離）
↓
ＭＡＸ（最高速度）
↓
ＡＶＧ（平均速度）
↓
ＲＡＮＧＥ（アシスト走行可能距離）
↓
ＣＡＬ（エネルギー消費カロリー）
↓
ＴＩＭＥ（走行時間）

※アシスト走行可能距離はあくまで目安になります。

■ 電池の電流表示

電池の残量は実際の割合で表示され、満充電の場合は 100%で表示されます。５%以下の場合、電池のアイコンが点滅しすぐ充電が必要であることをお知らせします。

4

〈各種の表示と設定〉

4 - 1

まずは「MODE」を連続２回短く押して、右の図のメニューリスト〈Setting、information、Exit〉画面を開きます。

≪Setting≫：ディスプレイの基本設定
≪Information≫：情報の表示

Setting
Information
Exit

4 - 1 - 1　Tlip reset

〈距離と速度などのリセット〉

- Trip Reset
- Unit
- Brightness
- Auto Off
- Back

⊕か⊖ のボタンを短く押して右の図の〈Trip Reset〉を選択し〈mode〉ボタンを押します。〈Trip Reset〉の画面になりますので⊕か⊖ボタンで「YES」か「NO」を選択します。

「YES」を選択するとリセット、「NO」を押すとリセットされません。
「MODE」ボタンを短く押して保存し、〈Setting〉へ戻ります。⊕か⊖を長く押して保存するとメイン画面へ戻ります。

「YES」を選択するとリセット、「NO」を押すと〈Back〉を選択→〈Exit〉を選択すると通常の画面に戻ります。

Trip Reset
NO

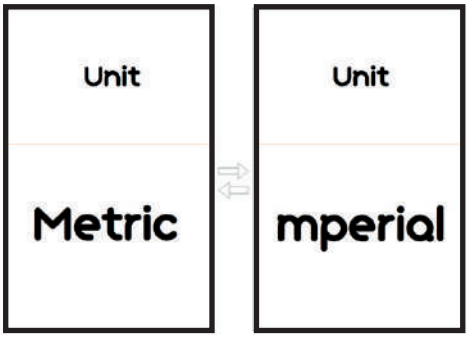
Trip Reset
YES

単一の走行距離をリセットすると、走行時間・平均速度・最高速度が同時にリセットされます。

4 - 1 - 2 Unit

〈 単位の切り替え 〉

〈setting〉画面から〈unit〉を選択し⊕か⊖ボタンで
〈Metric〉(メートル単位) または、〈imperial〉(マイル単位)
を選択し、mode ボタンで決定。

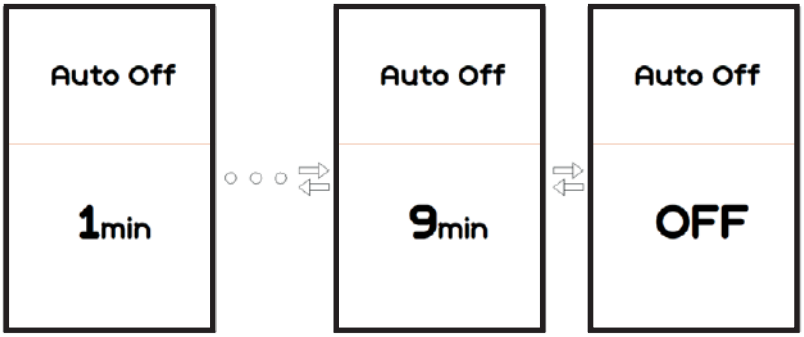


4 - 1 - 3 Brightness

〈 バックライト 〉

ディスプレイの明るさを調整する事が出来ます。
⊕か⊖ボタンで、10%、30%、50%、75%、100%、を選択しモードボタンで決定。

4 - 1 - 4 Auto Off 〈 オートオフの時間設定 〉



停車後に自動で電源が切れる時間を設定する事が出来ます。⊕か⊖ボタンで、
OFF / 9 分 / 8 分 / 7 分 / 6 分 / 5 分 / 4 分 / 3 分 / 2 分 / 1 分 を選択しモードボタンで決定。

4

〈各種の表示と設定〉

4 - 1

まずは「MODE」を連続２回ほど短く押して、右の図のメニューリスト〈Setting、information、Exit〉画面を開きます。

≪Setting≫：ディスプレイの基本設定
≪Information≫：情報の表示

Setting
Information
Exit

4 - 1 - 1 Tlip Reset

- Trip Reset
- Unit
- Brightness
- Auto Off
- Back

⊕か⊖ のボタンを短く押して右の図の〈Trip Reset〉を選択し〈mode〉ボタンを押します。〈Trip Reset〉の画面になりますので⊕か⊖ボタンで「YES」か「NO」を選択します。

「YES」を選択するとリセット、「NO」を押すとリセットしません。
「MODE」ボタンを短く押して保存し、〈Setting〉へ戻ります。⊕か⊖を長く押して保存するとメイン画面へ戻ります。

「YES」を選択するとリセット、「NO」を押すと〈Back〉を選択→〈Exit〉を選択すると通常の画面に戻ります。

Trip Reset
NO

Trip Reset
YES

単一の走行距離をリセットすると、走行時間・平均速度・最高速度が同時にリセットされます。

4 - 2
〈システム情報の確認〉

⊕ ⊖ のボタンを押して Infomation を
選択し ON/OFF ボタンで決定すると II の
メニューに切り替わります。

I

Setting
Information
Exit

II

- Wheel Size
- Speed Limit
- Battery Info
- Error Code
- Back

4 - 2 - 1〈Wheel Size〉

ユニットに登録されているホイールサイズです。
変更は出来ません。

Wheel Size

28 Inch

（表示例）

4 - 2 - 2〈Speed Limit〉

ユニットに登録されているアシスト力が働かなく
なる 速度です。道交法上アシストが働かなくなる
速度は、24 ㎞ /h です。

Speed Limit

24 km/h

4 - 2 - 3〈 Battery Info 〉搭載されているバッテリーの情報です。

『+』ボタンを短く押すと、順番に b01・b04・b06・b07・b08・b09・b10・b11・b12・b13・d00・d01・d02・…・dn と表示されます。『電源』を短く押して『バッテリー情報』インターフェースに戻ります。『+』ボタンと『-』ボタンを同時に長めに押して、メインのインターフェースに戻るか、または『戻る』・『終了』を選んでメインのインターフェースに戻ります。

情報コード	内容	単位
b 01	気温	℃
b 04	トータル電圧	mV
b 06	平均電流	mA
b 07	残量	mAh
b 08	全容量	mAh
b 09	現在の残容量	%
b 10	仕様上の残容量	%
b 11	充電回数 (0 %→100 % を 1 サイクル)	cycle
b 12	充電をしていない最大時間	h
b 13	最後に行った充電時間からの間隔時間	h
d 00	バッテリーセル数	
d 01	セル単位の電圧	mV
d 02	セル単位の電圧	mV
……	セル単位の電圧	mV
dn	セル単位の電圧	mV

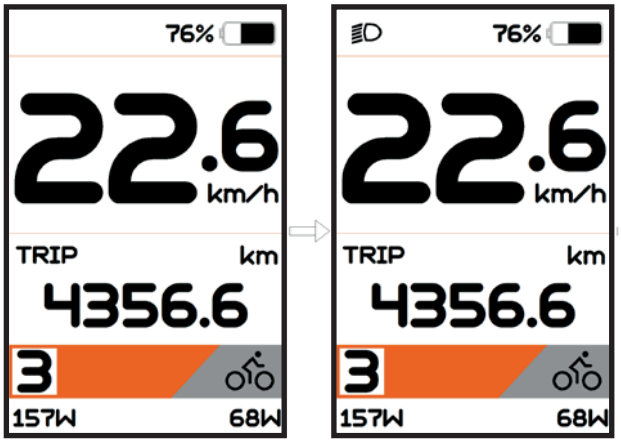
4 - 2 - 4〈 Error Code 〉

『+』ボタンまたは『-』ボタンを短く押して、『エラーコード』を選び、『電源』を短く押して履歴を確認します。『+』ボタンを短く押すと、最近の 10 回のエラーコード『E-Code0』の履歴が循環表示されます。『電源』を短く押して戻るか、『+』ボタンと『-』ボタンを同時に長めに押して、メインのインターフェースに戻ります。

エラー	説明	対処方法
07	バッテリーの高圧電流の異常	販売店へご相談下さい。
08	モーターホール信号の異常	販売店へご相談下さい。
10	モーターの温度が最大保護値に到達	モーターの温度が下がるまで使用をお控え下さい。温度が下がった状態でもエラーが出る場合は販売店へご相談下さい。
11	モーターの温度センサーの故障	販売店へご相談下さい。
12	コントローラー内部の電流センサーの故障	販売店へご相談下さい。
13	バッテリー内部の温度センサーの故障	販売店へご相談下さい。
14	モーターの異常	販売店へご相談下さい。
21	スピードセンサーの故障	車輪の磁石センサーと受信部の隙間が２０㎜以上離れてないか確認して下さい。
22	ＢＭＳ通信の不具合	バッテリーとの通信異常です。販売店へご相談下さい。
25	トルクセンサートルク信号の障害	販売店へご相談下さい。
26	トルクセンサー速度信号の障害	販売店へご相談下さい。
30	機器類の通信状態エラー	販売店へご相談下さい。

4 - 3

〈ヘッドライトのオン / オフ〉



ヘッドライトの点灯：

ヘッドライトがオフの時に『+』ボタンを長めに押すと、ディスプレイのバックライトが暗くなり、ヘッドライトのアイコンが浮かび上がります。

ヘッドライトの消灯：

ヘッドライトがオフの時に『+』ボタンを長めに押すと、ディスプレイのバックライトが明るくなり、ヘッドライトのアイコンが消えます。

ヘッドライトを装着した場合の拡張機能です。

ヘッドライトを装着していなくてもオン / オフの操作をするとアイコンが浮かびます。

メインシステムがオフになれば、ヘッドライトも消灯します。

4 - 4

〈電源のオフ〉

ON/OFF スイッチを 2 秒以上長押しすると電源が切れます。
また、オートオフの時間設定によりスイッチを切らなくても停車後、自動で電源は切れます。

（工場出荷時は 5 分で設定しています。）

リチウムイオン電池のリサイクルについて

● この商品にはリチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池又はこの商品を廃棄する場合はリチウムイオン電池を取り外して販売店または、リサイクル協力店へお持ちください。
環境保護と資源の有効活用をはかるため、電池の回収にご協力ください。

電池のリサイクルについて

● この商品に掲載している電池はリチウムバッテリーです。
この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。

リサイクル協力店について

● 充電式電池の回収・リサイクル及びリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。　http://www.jbrc.bet/hp/

バッテリーについて

バッテリーは電動アシスト自転車のペダルアシストをするうえで重要な部品です。

バッテリー（リチウムイオン電池）の特性について

● リチウムイオン電池は高性能充電式電池の一種で充電と放電を繰返し使用できる優れた電池です。
● バッテリーの寿命は気温・使用状態・充電の仕方などによって異なります。
● 充電回数の増加に伴い１回の充電容量が少なくなります。
● 長期間使用せず保管すると自己放電によりバッテリー残量が次第に少なくなります。
● バッテリー保護の為、満充電後の再充電はしないでください。
● 冬季（約５℃以下）や寒い環境では、充電１回当たりの走行距離が短くなります。
これはバッテリーの特性です。気温が高くなると走行距離はもとに戻ります。
● 夏季や熱い環境では
・バッテリーの内部温度が高いときに充電しようとすると、充電できないときがあります。
・バッテリーの温度が高いと、システム保護のためにアシスト力が低下することがあります。
・バッテリーの周辺温度が高いと、充電に時間がかかることがあります。
適正な温度（５℃以上４０℃以下）になれば回復します。

バッテリーについて

バッテリー交換の目安 (バッテリーには寿命が有ります)

● バッテリーの交換は有料です。
バッテリーの交換時期は、使用状況、充電のしかたなどにより異なりますが満充電後の走行距離が新品時より、著しく短く（約半分以下）なった時が交換時期です。

● バッテリー交換時期の目安
バッテリー交換時期の目安は、約７００回の充電 / 放電で、使用期間は約１年半前後が目安です。これは、ご使用や保管の状況等により、７００回未満の場合でも寿命（新品の約半分以下の容量）になる場合があります。

※冬季はバッテリーの特性上、走行できる距離が短くなります。また、ペダルを強く踏み込む状態で走行する機会が多かったり、高温になる駐輪場でバッテリーを保管すると、通常より少ない充電回数や短い期間でバッテリーが消耗し、寿命となる場合があります。
※バッテリーは消耗品です。「バッテリー交換の目安」と保証期間は関係ありません。
※ご不明な点がありましたら、販売店にご相談ください。

長期間 (１ヶ月以上) 保管する時のバッテリーの取扱い方法

● 電動アシスト自転車からバッテリーを取外し、満充電してから保管して下さい。
保管場所は気温１８℃～２８℃の範囲の場所で保管してください。

● バッテリーの劣化を抑えるため、最低２カ月に１度は充電をしてください。

● バッテリーの残量表示ボタンを押した時に LED ランプが点灯しない場合は充電してください。
再充電ができない場合はバッテリーが劣化し寿命となる可能性があります。

● 長期間保管後に再使用する場合、予めバッテリー残量を確認し、不足している場合、必ず充電してご使用ください。

※バッテリー残量がない状態での長期保管は、早期劣化の原因になります。

特徴

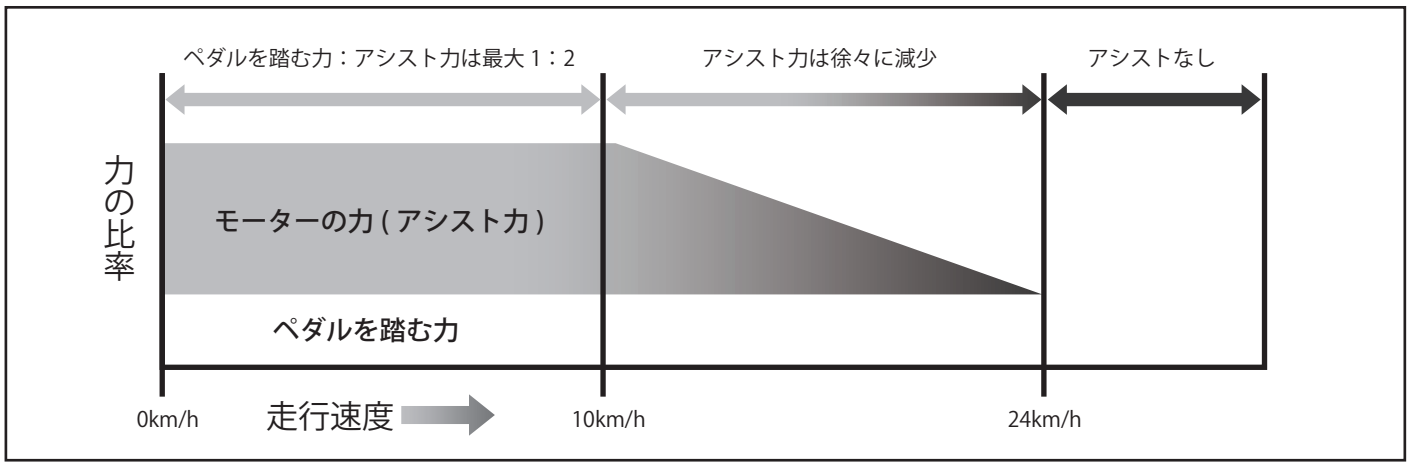
この自転車は電動アシスト付き自転車です。普通の自転車とは異なった部分がありますので、本書をよくお読みいただき安全・快適にお乗りください。

★ お知らせ ★

※この自転車は運転免許証は必要ありません。

■ モータの力 (アシスト力) で、らくらく走行

ペダルを一定以上の力で踏むとアシスト力が働くので、普通の自転車よりも軽く踏むだけで走行することができます。



★ お知らせ ★

- アシスト力とアシストが働く速度の範囲は、アシストモードや変速位置により異なります。
- 楽になる度合いは、ペダルを踏む力や道路状況、乗員の体格などにより異なります。
- 次の場合は、アシスト力が働きません。
  - ・走行速度２４Km/h 以上の時。
  - ・ペダルを踏む力が弱い。又はペダルに負荷をかけない時。
  - ・バッテリー切れの時。

■ 軽量で安全な、リチウムイオンバッテリーを使用

注油について

ご注意

・リムやブレーキなどの制動面には油を注さないでください。ブレーキが効かなくなります。
・タイヤの部分に油をつけないでください。ひび割れ等劣化の原因となります。
・チェーンには油をつけ過ぎないでください。つけ過ぎた油は拭き取ってください。ホコリが付き寿命が短くなります。
・ブレーキレバーのワイヤー固定部に注油を怠らないでください。

フレームヘッド回転部、ハブ、ペダルなどにはグリスがつまっていますので注油は不要です。販売店での定期整備の時にグリスアップを行ってください。

注油箇所

1．ブレーキレバー (前後)

2．チェーン

3．リヤディレーラ(後変速機)

4．フロントディレーラ(前変速機)

お手入れと保存

■ 日常のお手入れ

● 乾いた布やブラシで泥、土、ホコリを落としてください。
● 雨など水にぬれた時は、よく乾燥させた後、上図の箇所に注油してください。
● 塗装部 (フレーム等) は、乾いた布でよく拭き、自転車専用のワックスをかけ、乾いた布でよく拭き取ってください。
● メッキ部は、乾いた布でよく拭いた後、「錆止め油」または「機械油」で拭き余分な油を拭き取ってください。
● 錆びやすい場所 (浄化槽付近・海岸　等、湿気の多い場所) に置く時はお手入れの回数を増やしてください。

■ 注意

● シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
● 回転部 (ギヤ、車輪、チェーン等) には手を触れないでください。
● サドル、リム、にぎり、ブレーキレバーには、ワックスをかけないでください。

■ 日常の保管

● 雨のかからない乾燥した場所に保管してください。雨のかかる所では、市販の「サイクルカバー」を使用してください。

■ 標準予備部品

● ブレーキワイヤーやブレーキパッド等はお買い上げ店に自転車を持参の上自転車の適合したものに取替え修理してください。
● タイヤ・チューブについてはサイズをご指定の上、お買い求めください。
● その他のバッテリー等の予備部品についてはお買い上げ店にご相談の上純正品をお使いください。

こんな時はどうする？

■ 転倒したら

● 前ホーク、ハンドルが変形する事があります。自転車を横から見て調べてください。
● ハンドル、ブレーキレバー、ペダル、ディレーラー (変速機) などをぶつけた場合は、変形や損傷などに注意してください。

■ パンクしたら

● パンクしたまま乗り続けますと、リム、タイヤ・チューブを破損させます。必ず降りて押してください。自転車販売店で修理してください。

【パンクの原因は】

・クギ、ガラス破片などを踏んだ時。
・道路の溝に落ちたり、段差などに乗り上げた時。
・空気圧が不足の時
★注意深い使用で避けられるものです。

■ 交通事故の場合

● 万一交通事故を起こした場合は、相手が歩行者、自転車、自動車を問わず応急処置の後、すみやかに警察に通報してください。事故の処理などの一切は、警察の指示に従ってください。

■ ブレーキの故障やブレーキワイヤーが切れた場合

● ブレーキが効かない状態での走行は大変危険です。必ず、降りて押してください。近くの自転車販売店で修理してください。

■ 異常を感じた時

● 日常点検及び走行中に異常を感じた時は、すみやかに自転車販売店で点検整備を行ってください。

■ 自転車の廃棄について

● 自転車を廃棄する時は、お住まいの市町村で決められたルールに従って適切に処分してください。決して駅前等に放置しないでください。

■ 保険に加入しましょう

● 万が一のために対人対物賠償保険に加入しましょう。

悪質運転行為について

自転車運転中、危険なルール違反をくり返すと自転車運転者講習を受ける事になります。講習の対象となる危険行為とは、信号無視、酒酔い運転、ブレーキ不良 .. などの以下の 14 項目になります。

14 項目の悪質運転行為

① 信号無視
②「歩行者道路」など自転車の運行が禁止されている場所を通行すること。
③ 自転車の通行が認められている歩行者道路を通行する際に歩行者に注意を払わなかったり徐行しなかったりすること。
④ 歩道を通行したり、車道の右側を通行すること。
⑤ 路側帯で歩行者の通行を妨げるような速度と方法で通行すること。
⑥ 遮断機が閉じていたり、閉じようとしていたり、または警報機が鳴っている時に踏切に立ち入ること。
⑦ 交差点で、通行する車両の安全な進行を妨げること。
⑧ 信号のない交差点で左から来る車の進行を妨害すること。
⑨ 環状交差点の通行を妨害したり、徐行をしないことなど。
⑩ 一時停止標識などを無視して交差点に進入したりすることなど。
⑪ 歩道の車道よりの部分などを徐行しなかったり、歩行者の通行を妨害しそうなのに一時停止しないこと。
⑫ ブレーキがなかったりブレーキの性能が不良の自転車で走行すること。
⑬ 酒酔い運転。
⑭ ハンドルやブレーキなど確実に操作せず、また他人に危害を及ぼすような速度や方法で運転すること。(傘さし、スマホ運転も含まれます)

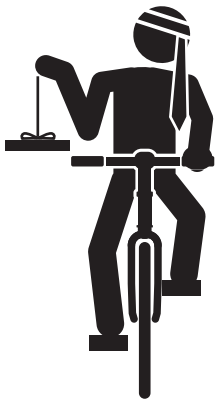
⚠ 注意事項

信号無視や一時停止など 14 項目の行為をして 3 年以内に 2 回以上摘発された自転車運転者は、公安委員会の命令を受けてから 3 ヶ月以内の指定された期間内に講習を受けなければ 5 万円以下の罰金が課せられます。

交通ルールを守りましょう

自転車で道を走る時に必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。
小さなお子様の場合は、保護者の方が付き添いましょう。

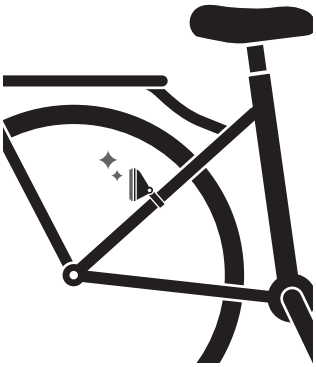
禁止
酒酔い運転はしない



指示
夜間及びトンネル内を走行する時は必ずライトを付けること

禁止
駐輪禁止の場所に自転車を止めない

指示
リヤリフレクター(後部反射器)を必ず付けること



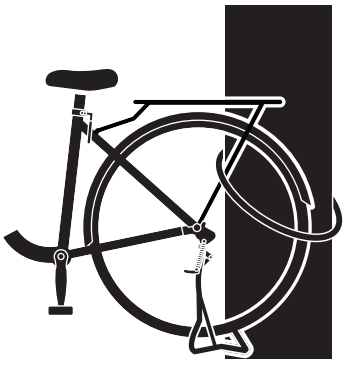
禁止
２人乗りはしない

※ただし子供乗せを取付けた自転車に６歳未満の子供を乗せる場合を除く。

指示
リヤリフレクター(後部反射器)はこわれたり汚れていないか確かめること

禁止
ジグザグ運転はしない

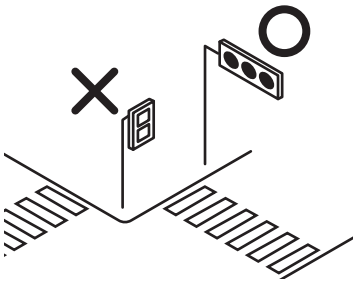
指示
盗難防止のため鍵をかけること



交通ルールを守りましょう

指示

自転車は車両用信号に従うこと



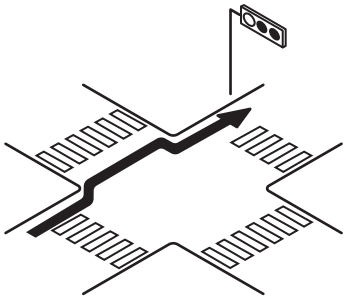
※ただし「歩行者・自転車専用」と表示してある場合、歩行者信号に従い自転車横断歩道を使用しましょう

指示

発進する時、後方・前方の安全を確かめてから進むこと

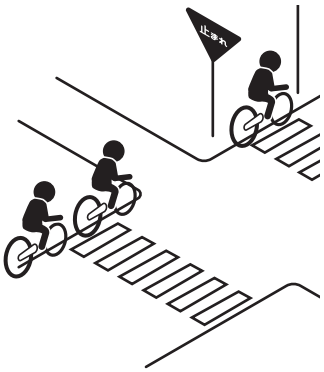
指示

正面の信号が青の時は矢印のように進むこと



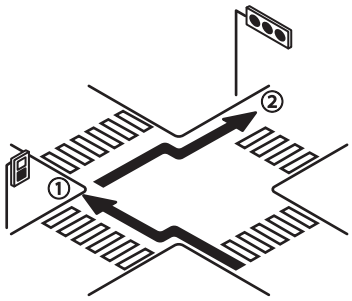
指示

車道の左側を必ず一列に進むこと



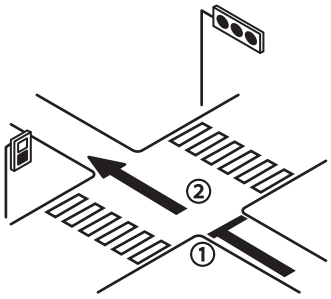
指示

信号を右に曲がる時は矢印のように二段階右折をすること



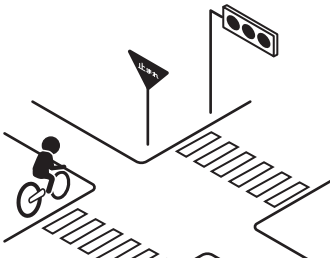
指示

狭い道から広い道に出る時は一時停止をすること



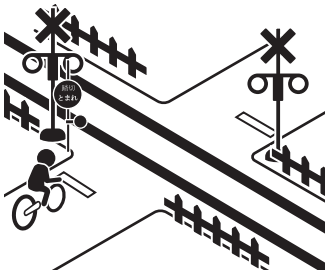
指示

交通標識を守ること



指示

踏切では必ず一時停止をし、左右の安全を確かめて渡ること

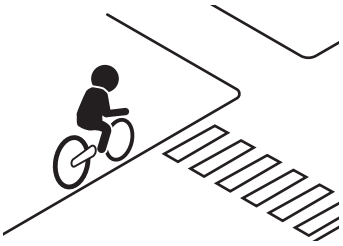


交通ルールを守りましょう

指示

自転車通行可の歩道を通行する時は、車道よりを通行すること。

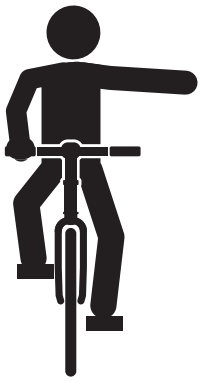
また、徐行や一時停止などして歩行者を優先しながら進行すること。



左折する時は、右腕のひじを垂直に上にあげましょう。

一時停止する時は、右腕を斜め下に出しましょう

右折する時は、手の平を下にして右腕を横に水平に出しましょう。



主な道路標識と意味

自転車専用

自転車および歩行者専用

自転車横断帯

自転車通行止め

一時停止

学校・幼稚園などあり

通行止め

車両通行止め

踏切あり

点検・チェックリスト

❗ 点検時期外でも異常を感じた場合、点検・調整を受けてください。

※書き方・・・点検・・・良好○　不備×

	点検項目	2か月以内		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと	
		点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整
1	大きさは乗り手の体格に合っているか												
2	サドルにまたがって、足が地に届くか、またサドルの固定は確実か												
	●ハンドルの高さは適当か、また固定は確実か ●乗る人の上体が少し前に傾くように、サドルの前後の位置が調整されているか												
	●1～2は幼児・お子さまにご留意下さい。												
3	フレーム・前ホークに変形や亀裂などはないか												
4	ヘッド・ハンガー小物にガタ・磨耗はないか												
5	ドロヨケはしっかりと取付けてあるか												
6	キャリヤ(荷台)は偏っていないか、またしっかり取付けてあるか												
7	スタンドの取付と作動はよいか												
8	タイヤの空気の入り具合は適当か、タイヤはすり減っていないか												
9	ペダルはクランクと直角になっているか												
10	クランクに曲がりはないか、ギヤクランクは滑らかに回転しガタはないか												
11	ペダルはなめらかに回転するか												
12	車輪のふれ・スポークのゆるみ・軸部のガタはないか												
13	ブレーキゴム類、シュー・パット・ライニングなどすり減ってないか												
14	レバーの感覚は正常で前後のブレーキはよく効くか												
15	チェーンのたるみ・張りは適当か												
16	発電ランプは点灯するか、ネジはゆるんでないか												
17	リフレクターはこわれていないか、汚れていないか												
18	ベルはよく鳴るか、ゆるんでないか												
19	鍵の取付と機能はよいか												
20	ギヤチェンジは正確に作動するか、またチェーンが外れないか												
21	フリーホイールの回転と注油はよいか												
22	チェーンケースの形状と取付は良いか												
	定期点検・調整を実施した販売店並びに年月日	年月日	印	年月日	印	年月日	印	年月日	印	年月日	印	年月日	印

●点検整備のお願い

(定期点検・整備)

■お買い求め後2か月以内に第1回目を、「第2回目」はその後1年後とに実施して下さい。なお、点検・整備はお早めに販売店(組立整備資格者)に依頼される事をおすすめします。(有料)
■異常を感じた場合上記の点検を実施し、調整・修理して下さい。

防犯登録について

平成 6 年 6 月 20 日より自転車基本法 (省略) が改正され、防犯登録が自転車利用者の義務となりました。防犯登録をご希望の方は、お近くの「防犯登録所 (自転車販売店)」にて手続きが出来ます。

■ 防犯登録を受ける際、必要になるもの

- お買い求め頂いた自転車本体
- 品質保証書 (取扱い説明書付属の品質保証書に必要事項を記入してください。)
- お客様の身分証明になるもの (運転免許証・健康保険証・学生証など)

※ 防犯登録を受ける際は別途手数料が必要となります。(お客様のご負担になります。) その他、防犯登録についてご不明な点がございましたら最寄の自転車販売店、または警察署にお尋ねください。

■ 基準適合ＴＳマークについて

- 基準適合ＴＳマークは、道路交通法に定める駆動補助付自転車および普通自転車の基準に適合し、国家公安委員会の型式認定を受けた自転車に貼付するものです。貼付された基準適合ＴＳマークをはがさないでください。

取扱上の注意

自転車本体、部品等を廃棄するときは、各自治体の指示内容に従って処理してください。

メモ

メモ

自転車安全利用五則を守りましょう。

① 自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。したがって、歩道と車道の区別のあるところは車道通行が原則です。

[罰則]3 カ月以下の懲役又は 5 万円以下の罰金

② 車道は左側を通行

自転車は道路の左端に寄って通行しなければなりません。

[罰則]3 カ月以下の懲役又は 5 万円以下の罰金

③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行の妨げる場合は、一時停止をしなければなりません。

[罰則] 2 万円以下の罰金又は科料

④ 安全ルールを守る

■ 飲酒運転は禁止
自転車も飲酒運転は禁止

[罰則]5 年以下の懲役又は 100 万円以下の罰金

※酒に酔った状態で運転した場合

■ 二人乗りは禁止
6 歳未満の子供を 1 人乗せるなどの場合を除き、二人乗り禁止

[罰則]2 万円以下の罰金または科料

■ 並進は禁止
「並進可」標識のある場所以外では、並進禁止。

[罰則]2 万円以下の罰金または科料

■ 夜間はライトを点灯
夜間は前照灯及び尾灯 (反射器材) をつける。

[罰則]5 万円以下の罰金

■ 信号を守る
信号を必ず守る。「歩行者・自転車専用」信号機のある場合は、この信号に従う。

[罰則]3 カ月以下の懲役又は 5 万円以下の罰金

■ 交差点での一時停止と安全確認
一時停止の標識を守り、狭い道から広い道に出るときは徐行。
安全確認を忘れずに。

[罰則]3 カ月以下の懲役又は 5 万円以下の罰金

⑤ こどもはヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は児童・幼児にヘルメットをかぶらせるようにしましょう。

錠前は盗難予防に絶対的なものではありません。目の届く管理された場所での駐輪や、他の鍵との併用をお勧めします。

＜品質保証規定＞

1．保証期間

特別保証１	・フレーム体及び前ホーク (サスペンションホークは除く)	お買い上げ日から起算し５ヵ年間
特別保証２	・リチウムイオンバッテリー (バッテリーの状況により対象外となる場合がございます。)	お買い上げ日から起算し２ヵ年間
一般保証	・フレーム体、前ホーク以外の部品　・サスペンションホーク　・充電器 (保証対象外部品 (消耗部品) は除く)	お買い上げ日から起算し１ヵ年間
保証対象外部品 （ 消耗部品 ）	タイヤ、チューブ、ブレーキ類の摩耗部品 (通常の摩耗または疲労)、かご、バック、ドレスガード等の付属品、 ブレーキワイヤー、変速ワイヤー、ワイヤー取付金具コード類及び使用者がご自分で取り付けた部品。	

2．保証できない事項

ア．使用者の使用上の不注意によるもの。
イ．衝突、転倒、道路の段差等の乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
ウ．法令の違反行為によって生じたもの。（最大積載オーバー、二人乗り等）
エ．保守、整備不良または間違いにより生じたもの。
オ．当社が指定する定期点検調整を実施しなかった場合。
カ．使用者が構造、機能を改造または変更したため生じたもの。
キ．酷使または一般に自転車が走行しない場所での走行（道の無い山岳、ツーリング道の無い土手の傾斜面等）により生じたもの。
ク．レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
ケ．地震、落雷、火災、水害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
コ．手入れ不十分、保管場所の不備及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合及びプラスチック部品等の自然退色。
サ．部品の通常の摩耗または疲労と認めたもの。（タイヤ、チューブ、ブレーキ類の摩耗部品）
シ．釘、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
ス．一般に機能上の影響のない感覚的現象 (音、振動等)
セ．本保証書に示す条件以外の費用等。
ソ．この保証書は盗難保険ではありません。盗難保証書及び防犯登録については販売店にご相談下さい。

3．保証修理を受ける為の条件及び手続き

・保証修理を受けるためには次の事柄をご了承願います。
・保証修理を受ける場合、保証書と自転車をご持参ください。
・なお、保証書の提示がないと保証修理は受けられません。保証書は字句などを書き換えた場合は無効とします。
・ご贈答、転居及び他に譲渡する場合についてはお買い上げ店にご相談下さい。
・お買い上げの自転車は初期点検（2 カ月以内）その後 1 年ごとに定期点検を受けてください。
・この定期点検を受ける際には自転車と定期点検チェックリストをご提示ください。定期点検、調整は有料です。
・保証書は日本国内で使用される自転車で、車体ナンバーの刻印があるものに適用されます。海外に持ち出す場合はその時点で打ち切りになります。
・保証修理に関するお問い合わせは、お買い上げ店でご相談ください。
・修理に関して出張修理の依頼を受けたときは、出張費を請求する場合があります。

4．部品の保証期間

● 保証期間経過後でも機能を保持するための補修機能部品は、一定期間お買い上げ店又は弊社に保有しております。但し新型が売り出された場合等は、代替部品にて対応しておりますので予めご了承願います。

5．その他

● この保証書は、本書に明示した期間、条件に基づき保証修理をお約束する物です。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
● 保証期間経過後の修理等について不明な点はお買い上げ店又は弊社にご相談ください。

販売店へのお願い

● 品質保証書を発行する際は、保証書の各項目をご記入お願いします。
● (控) は貴社の控えとして必ず大切に保存してください。（保存期間は 10 年です）
● (保証書) の販売店名欄に貴社名を記入捺印してお客様に必ずお渡しください。

カギのＮＯ．控：

製品に対してのお問い合わせ、ご相談は保証書に記載された販売店もしくは弊社へご連絡ください。

evol

HP evol-bikes.com ▶

Instagram ▶

アサヒサイクル株式会社

本社・工場　〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通4丁目1番11号
関東営業所　〒346-0037 埼玉県久喜市六万部778-1
ホームページ　http://asahicycle.co.jp

Twitter ▶ Facebook ▶ Instagram ▶